

豊科郷土博物館の催し
3月29日、リニューアルオープン

TEL 72・5672 FAX 72・7772
豊科郷土博物館

このたび、常設展示をリニューアルしました。テーマは、「安曇野をめぐる水と私たちの暮らし」です。私たちに身近な水とくらしとの関わりを、さまざまな切り口からご覧いただけます。オープン当日は、市出身の白井則孔さんのコンサートを行い、学芸員が展示の説明をします。どうぞお誘い合わせの上、お出掛けください。
リニューアルオープニングイベント



撮影者 木下忠頼

豊科郷土博物館講座
「新発見！穂高神社御船祭りの古文書」

市教育委員会の古文書調査により、先ごろ穂高神社の御船祭りに関する新たな古文書が発見されました。これにより、穂高神社の御船祭りが今まで考えられていた時期よりも、さらに古い江戸時代の元禄年間にさかのぼることが分かりました。

第30回白鳥写真展を開催します。白鳥が初めて安曇野へ訪れたシーズンから始まった本展覧会も、30回の節目を迎えます。本年も安曇野で越冬する白鳥を写した作品がたくさん集まり、見ごたえのある展示となっています。冬の使者の愛らしい姿をどうぞお楽しみください。

そこで、市民の皆さんを対象に、古文書講座を開催し、新発見の古文書から読み取ることができる江戸時代の御船祭りについて紹介します。多くの皆さんのご参加をお待ちしています。

待ちしています。
●日時 4月6日(日) 午後1時30分
●場所 豊科郷土博物館
●定員 30人
●申し込み 3月22日(土) から豊科郷土博物館まで電話で申し込んでください。(受付は、午前9時～午後5時。31日は休館)
●資料代 100円(別途入館料が必要)
田淵行男記念館 百楽桜まつり
TEL 72・9964 FAX 88・2010
記念館前に田淵行男がのこした「一山百楽」という言葉にちなんで命名された「百楽桜」(写真)という桜があります。
この桜の開花時期に合わせて記念館のワサビ田テラスにて野点のサービスを行います。当日に限り入館料無料ですので、ぜひお立ち寄りください。
●日時 4月5日(土) 正午～午後3時



漉し井戸

水道が普及する以前、掘り井戸や沢水を利用できなかった一部の地域では、飲料や風呂などの暮らしの水を漉し井戸から得ていました。
漉し井戸は、川や堰の縁に掘った深さ2メートルほどの穴に、直径50～90センチの土管を縦に埋めたものです。土管の中には小石・砂・木炭が交互に敷き詰められ、横を流れる川や堰の水がろ過されて溜まります。子どもころ、学校帰りにのどが渇くと、漉し井戸の蓋を開け、柄杓で水を汲んで飲んだという思い出のある人も多いのではないのでしょうか。
3月29日(土) にリニューアルする豊科郷土博物館の常設展示でも漉し井戸を紹介しています。

再発見！安曇野の文化 その27

文化課文化財保護係
TEL 62・3090 FAX 62・3525

田淵行男写真展

「北アルプスの雪形」

昔から人々は、自然の暦として雪形からさまざまな情報を得ていました。山岳写真家の田淵行男は、そんな雪形に興味を持ち、調査・研究をしました。

今回の展示では、田淵が「雪形観望の特等席」と呼んだ安曇野を取り巻く、北アルプスの雪形約20点を紹介します。

●日時 3月25日(火)～6月1日(日) 午前9時～午後5時
●会場 田淵行男記念館 地階展示室
●入館料 高校生以上300円
中学生以下無料 市内在住の75歳以上の人は無料

●休館日 月曜日・祝日の翌日(ただし、3月22日、5月4、5、6日は開館)



「代掻き馬」 奮闘 1970年頃撮影

春休み親子ガラス体験イベント

あつみ野ガラス工房
TEL 72・8030
ガラス、そばちょこ、一輪挿し、クリーマーのいずれかを吹きガラスで制作する体験イベントです。親子でチャレンジしてみませんか。
●日時 3月26日(水)、27日(木) 午前の部 9時～ 午後の部 1時30分～

キルト入門講習会参加者の募集

自然体験交流センター「せせらぎ」
TEL 62・6667
キルト作品の製作入門講習会(全3回)を開催します。昨年の安曇野スタイルで好評だったキルト作品の入門講習で、初回はポ

シエットを作ります。また、作品例を4月から館内に展示しますのでご覧ください。

●対象 市内在住者
●日時 4月27日(日) 受付午前9時50分～ 講習午前10時～午後5時
※2回目6月、3回目10月を予定
●場所 ホール・学習室
●参加料 1500円(初回材料費)
●持ち物 裁縫用具一式、昼食
●定員 20人
●申し込み 4月20日(日) までに自然体験交流センター「せせらぎ」へ電話・ファクスあるいは窓口でお申し込みください。(受付は午前10時～午後5時、月曜日は休館)

QUIZ No.7

ためして安曇野検定 クイズ

問題1 夏川草介の人気小説を映画化した『神様のカルテ』のロケ地となった安曇野市の神社は、次のうちどれでしょうか。

- ①吉野神社 ②賀茂神社
③三柱神社 ④犀宮神社

問題2 安曇野市の5つの総合支所のうち、最も標高の低い所にあるのは明科総合支所ですが、最も標高の高い所にあるのは、どこでしょうか。

- ①豊科総合支所 ②穂高総合支所
③三郷総合支所 ④堀金総合支所

問題3 昭和30年代中頃まで、豊科や穂高の市街地のにぎわいを支え、その後、衰退していった「二業地」とは何のことでしょうか。

- ①料理店と芸者置屋の二業の営業が許可されていた土地
②卸売業と小売業の二業が混在していた土地
③商業と工業の二業が混在していた土地
④小売店と料理店の二業の営業が許可されていた土地

問題4 下の写真のように、安曇野市の東側から北アルプスを眺めたとき、山の位置を左手から正しい順番で並べてるのはどれでしょうか。

- つばくろだけ おてんしょうだけ ちょうがたけ じょうねんだけ
①燕岳→大天井岳→蝶ヶ岳→常念岳
②蝶ヶ岳→燕岳→常念岳→大天井岳
③常念岳→蝶ヶ岳→燕岳→大天井岳
④蝶ヶ岳→常念岳→大天井岳→燕岳



答えは 18 ページ
皆さんもぜひ安曇野検定クイズに挑戦してみてください。
社会教育課社会教育係 (TEL 62・4565)